

第8回国際沿岸防災ワークショップで今村教授が講演しました(2011/9/5)

9月5日(月)、開港記念会館(横浜市)にて、第8回国際沿岸防災ワークショップ(The 8th International Workshop on Coastal Disaster Prevention)～レベル2津波災害からの復旧・復興～(—Restoration and Rehabilitation from Disasters Caused by Level-2 Tsunami—)が開催されました(主催:港湾技術研究所, 沿岸技術研究センター, 国土交通省港湾局)。このワークショップは、2004年インド洋津波の直後の2005年1月以降、国際沿岸防災ワークショップを毎年1回国内外で開催されているもので、世界各地における沿岸域の災害を低減するために、知識の共有と国際協力の推進を目的としています。第8回目を迎える今年は、東北地方太平洋沖地震津波とその甚大な被害の発生を受けて、2004年インド洋大津波直後から開催してきました国際沿岸防災ワークショップでの議論を踏まえつつ、今回のような発生確率が1000年に1回程度の巨大津波(レベル2津波)の被害からの復旧・復興について、世界の研究者、技術者、国・地方自治体の防災関係者をはじめ一般参加者も交えたワークショップを通して考える、という主旨で開催されました。当センターからは、今村教授がセッション1の「東日本大震災」における津波災害とその復旧・復興」の中で、今回の津波が及ぼした影響の大きさについての講演を行いました。

講演題目

今村文彦:「東日本大震災での津波の被害像」



会場の様子

写真提供: カナロコ, <http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1109060005/>